

ウポポイ
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間令和6年1月19日
釧路開発建設部

受賞団体決定！「わが村は美しくー北海道」運動 ～第11回コンクールの優秀賞12団体、奨励賞18団体が決定～

北海道開発局は、「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクールを開催し、選考の結果、全道63団体（56市町村）の応募の中から、農山漁村における地域の活性化や、個性的で魅力ある地域づくりの優れた活動として、優秀賞12団体、奨励賞18団体を表彰することを決定しました。

このコンクールは、自然的・社会的・歴史的に特徴のある景観を形成してきた北海道の農山漁村が、より「美しく」あるため、地域の魅力と活力を高めようとする住民主体の活動を見だし、これを広く発信し、波及させていくことによって農山漁村の振興に寄与することを目指し、平成13年から、2年に1度開催しています。

今回は、全道10のブロックごとの審査により、各ブロックから選定された団体（優秀賞12団体、奨励賞18団体）を表彰します。

なお、優秀賞の中から、来年度（令和6年度）の大賞審査により、第11回コンクールの大賞を決定します。

釧路開発建設部管内においては、5団体（4市町村）の応募の中から、優秀賞1団体、奨励賞1団体を表彰します。コンクール概要については別紙1及び別紙2を、表彰団体については別紙3をご参照ください。

なお、表彰状の授与は、各受賞団体を訪問し行う予定です。

【「わが村は美しくー北海道」運動とは】

北海道の農山漁村が持つ、かけがえのない地域の資源（景観・地域特産物・人の交流）を守り、次の世代に引き継ぎ、そこに住む人々が誇りを持てる北海道の「わが村」の未来を創っていこう、との思いから生まれた運動です。「地域に住む方々が主体となった地域づくり活動の普及により、北海道の農山漁村全体が豊かになり、活性化をもたらす」ことを基本の考え方とし、地域で活動する団体などを支援しています。

「わが村は美しくー北海道」運動の情報は、以下のホームページに掲載しています。

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/ud49g7000000emhm.html



【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部 土地改良情報対策官

土地改良情報対策官 大宮 幸司 電話：0154-24-7407

土地改良情報係主任 佐々木 明美 電話：0154-24-7419

釧路開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/ks/>





Point

- 北海道の農林水産業をより豊かにすることを目指し、平成13年にスタート
- 道内各地で地域資源を活用して地域を活性化しようとする住民主体の活動に対する支援



「景観」の形成

【景観】
地域の特色を活かし、生活と生産に根ざした景観形成活動

魅力ある活力に満ちた北海道

「地域特産物」のブランド化

【地域特産物】
地域で生産される農林水産物及びそれらを主として利用した加工品の生産販売活動

【人の交流】
地域の魅力を高めるコミュニティづくりに結びつく都市及び地域内外の人たちとの交流活動

活発な「人の交流」づくり



- 参加しようー中心となるのは、地域に住む人々
 - 広げようー活動の輪を大きく、自由に
 - 伝えようー北海道の「いいもの」を、もっと外へ
- 「地域の資源」を見つけよう
地域の個性を競い合い高め合い
地域住民の努力と行動に光をあて、広く伝えよう

取組

- コンクールの開催 ← 「地域資源」を見つけ、「いいもの」を多くの人に伝えます
- 地域の魅力を高めようとする地域住民の活動をさらに広く伝えて、その活動を支援し波及させます

第11回「わが村」運動 コンクール

地域住民の活動を支援する一環として、地域で活動する団体を対象にコンクールを開催しています

活動団体

現地調査
優秀賞・奨励賞の選考

表彰式

大賞の選考

大賞表彰式

第10回コンクール 大賞受賞団体

R5年度



北のなのはな会【安平町】

R6年度



ほんべつ豆まかナイト
実行委員会【本別町】

多くの人に伝えるための取組

- HPへ掲載 <https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/na/nou.sln/ud49g700000emhm.html>

→活動団体の最新情報を広く発信

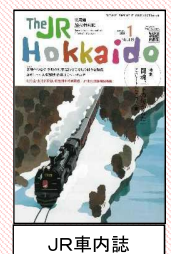
- メールマガジンの配信

→活動団体への情報提供

→活動団体の最新情報を発信

- JR北海道の車内誌

→「The JR Hokkaido」への掲載
(JR北海道の協力)



JR車内誌

- 地域イベントで活動PR

→地域イベントに参加し
団体活動を紹介



札幌大通でのパネル展

- パネル展でPR

(北洋銀行との連携)

- Facebook(フェイスブック)の取組

→活動団体の最新情報を広く発信

Facebookはこちらの
QRコードからご覧頂けます。





令和6年1月19日
北海道開発局

「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクールの受賞団体を決定
～農山漁村地域の活性化に貢献する活動を応援しています～

「わが村は美しくー北海道」運動では、平成13年から2年に1度コンクールを開催しており、今回で11回目となります。

第11回コンクールには全道から63件（団体）の応募があり、審査の結果、優れた活動として優秀賞12団体、奨励賞18団体を表彰することとしました。

表彰式は、本日以降、随時、受賞団体の応募先である各開発建設部において行う予定ですので、詳細については、該当する開発建設部土地改良情報対策官にお問い合わせください。

○第11回コンクールの概要について

1. コンクールの応募状況等について

(1) 応募件数

全道56市町村から63件（団体）の応募

(2) 審査経過

▶令和5年1月～令和5年6月：募集

▶令和5年7月～10月：全道10ブロック※での現地調査
(ブロック審査委員会による全応募団体の調査)

▶令和5年7月～11月：ブロック審査委員会での審査
(現地調査の結果から受賞団体を選考)

※各開発建設部の所管を1ブロックとしている。

2. 受賞団体について

(1) 優秀賞※（北海道開発局長表彰）〔12団体〕

※優秀賞：ブロック審査により、活動が優秀と認められた団体を選定。

- ▶ 特定非営利活動法人 山のない北村の輝き（岩見沢市）
- ▶ 元気村・夢の農村塾（深川市、妹背牛町、沼田町、北竜町、秩父別町）
- ▶ にじいろファーム（七飯町）
- ▶ 美国・美しい海づくり協議会/余別・海 HUG くみたい（積丹町）
- ▶ 名寄市立大学援農ボランティアの会（名寄市）
- ▶ ニサナイ大地の会（むかわ町）
- ▶ 北海道中標津農業高等学校 マネージメント研究班（中標津町）
- ▶ 北海道帯広農業高等学校 食品科学科 地域資源活用分会（帯広市）
- ▶ ピロロツーリズム推進協議会（広尾町）
- ▶ 合同会社 びほろ笑顔プロジェクト（美幌町）
- ▶ フレッシュ市場「花菜夢」（遠別町）
- ▶ 社会福祉法人稚内市社会福祉事業団 就労継続支援B型事業所 稚内市北光園（稚内市）

(受賞団体名は順不同です)

(2) 奨励賞※（各開発建設部長表彰） [18 団体]

※奨励賞：ブロック審査により、将来性や継続性から奨励すると認められた団体を選定。

◇札幌ブロック [3 団体]

- ・沼田町産直グループ 愛菜ママ（沼田町）
- ・疏水ほっかい愛護連絡協議会（岩見沢市）
- ・一般社団法人 恵庭青年会議所（えにわハッピーハロウィン実行委員会）
（恵庭市）

◇函館ブロック [2 団体]

- ・ハコダテフィッシャーマンズ（函館市）
- ・一般社団法人 福島町まちづくり工房（福島町）

◇小樽ブロック [1 団体]

- ・しりべし女子会（後志管内）

◇旭川ブロック [2 団体]

- ・辰巳農園（上川町）
- ・JA ふらの女性大学（富良野市、上富良野町、中富良野町、南富良野町、占冠村）

◇室蘭ブロック [2 団体]

- ・壮瞥町オロフレ地熱利用野菜組合（壮瞥町）
- ・合同会社 自然農業社（壮瞥町）

◇釧路ブロック [1 団体]

- ・みんなの景観なかしべつプロジェクト（中標津町）

◇帯広ブロック [3 団体]

- ・株式会社 地恵贈（池田町）
- ・北海道本別高等学校 豆乳クレンジングジェル班（本別町）
- ・北海道士幌高等学校 乳加工専攻班（士幌町）

◇網走ブロック [2 団体]

- ・株式会社 滝上町和ハッカ・ラボ（滝上町）
- ・つべつ豆のわ！！プロジェクト（津別町）

◇留萌ブロック [1 団体]

- ・乳製品加工研究会「美留来のゆめ」（天塩町、幌延町、遠別町）

◇稚内ブロック [1 団体]

- ・北海道豊富高等学校ボランティア部（豊富町）

（受賞団体名は順不同です）



かぼちゃランタンプロジェクト

「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクール応募団体
 北海道中標津農業高等学校 マネージメント研究班
 【中標津町】

農業高校生が先生として町の子どもたちへの食農教育を推進！

【はじめりは？】

「食料生産基地の中標津町で育ち、農業と食を学ぶ私たちにできることはないだろうか？」という生徒の意見から始まった計根別食育学校は、今年で18年目を迎えました。

「幼少期から継続的に農業に触れ、農業と食の大切さを学んでもらうこと」「活動を通して自分が食農教育の大切さを確認すること」の2点を目標とする食農教育に取り組んでいます。

【おもな活動】

地域の幼稚園、義務教育学校と連携を図り、計根別地域の全ての子どもたちを対象とした食農教育を展開しています。幼稚園、小学部、中学部と学ぶ学年に合わせ、畑作や酪農、食品加工など幅広い分野から「農業」に向き合うことができる活動となっており、この活動をきっかけに農業に興味を持ち、本校に入学してくる生徒も増えてきました。



エゾシカ肉の加工



酪農体験

【ここが自慢】

地域住民の「小さな地区に大きなイベントを」という声に応え、計根別地域全体をハロウィンカボチャで飾りつける「かぼちゃランタンプロジェクト」を毎年実施しています。

この取組に使用するカボチャの栽培には、地域内で耕作が放棄されている畑を使用しており、農地の有効利用と地域の景観整備にもつながる活動となっています。



耕作放棄地の活用

連絡先

代表者名：篠原 圭さん／設立：2006年／会員：13名

住所：標津郡中標津町計根別南2条西1丁目1番地1

電話番号：0153-78-2053

FAX：0153-78-2465

E-mail：nagri-gyomu@ed.nakashibetsu.jp

URL：https://www.nakashibetsu.jp/nagri/



中標津町



景観学習（格子状防風林の模型を作成）

「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクール応募団体 みんなの景観なかしべつプロジェクト

【中標津町】

地域の育まれた景観を理解して、後世に引き継ぐ！

【はじめは？】

まちに誇りと愛着を持ち、自然を守り、うるおいのある生活空間をつくり、豊かな緑と健やかな心を育て、中標津町の風土に調和した良好な景観を形成し、後世に引き継ぐために中標津町の育まれた景観を理解した上で守り、育て、整えることを通して景観まちづくりに寄与することを目的として設立された任意団体です。現在は町民・活動団体・事業者・行政の協働により良好な景観の保全・景観形成に関する事業を推進しています。

【おもな活動】

「町民一人ひとりが景観づくりの主役であること」の理解と「町民・地域・活動団体・町との協働や連携した活動」の推進のため、調査分析・学術研究等の事業を通じて中標津らしい景観まちづくりに寄与しています。



中標津町の格子状防風林

【ここが自慢】

「根釧台地の格子状防風林」はその歴史的、文化的な側面を評価され、北海道遺産に登録され、中標津町の代表的な景観の一つです。この格子状防風林を活用した景観学習では、授業の内容・構成、模型作りキットの作成による準備を行い、外部講師にはメンバーである地域の人、学芸員、行政が一体となって、児童が将来地域を守り、まちづくりや地域活性化につながる協働の取組として実施しています。



模型の作成状況



連絡先

代表者名：飯島 実さん／設立：2019年／会員：21名

住所：標津郡中標津町桜ヶ丘1丁目1番地5 伝成館内

電話番号：0153-72-0672

FAX：0153-72-0672

E-mail：minnaka.nakashibetsu@gmail.com

URL：https://www.facebook.com/nakashibetsu.keikan/